

2022年10月28日
日本生命保険相互会社

マルハニチロ株式会社が発行するブルーボンドへの投資について
～海洋資源の保護・持続的な活用に向けた支援～

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、この度、マルハニチロ株式会社（社長：池見賢、以下「マルハニチロ」）が発行するブルーボンド（以下「当債券」）に4億円投資しました*。当案件は、本邦初のブルーボンド発行事例であり、当社にとっても初めてのブルーボンドへの投資となります。

ブルーボンドとは、調達された資金の使い道が、海洋生態系の保護や持続可能な水資源の利用といった、海洋・水関連の環境保護プロジェクトに限定される債券です。

当債券発行による調達資金は、環境持続型の漁業・養殖事業に充当される予定です。なお、マルハニチロが策定した当債券の発行に適用するブルーファイナンス・フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）の定める「グリーンボンド原則 2021」、国際金融公社（IFC）の定める「Guidelines for Blue Finance」等との適合性について第三者意見を取得しています。

当社は、生命保険会社としての使命や公共性を踏まえ、環境や地域・社会と共生し、経済・企業と安定的な成長を共有していく観点から、ESG 投融資を強化しており、当債券への投資もその一つと位置付けています。

今後も、持続可能な社会の実現への貢献と契約者利益の一層の拡大を目指し、ESG 投融資に取り組んでまいります。

※：当社はニッセイアセットマネジメント株式会社と投資一任契約を締結し、クレジット投資とオルタナティブ投資の機能を、ニッセイアセットマネジメント株式会社に移管しています。

<https://www.nissay.co.jp/news/2020/pdf/20210304a.pdf>

< 案件概要 >

発行体名	マルハニチロ株式会社
実行日	2022年10月27日
当社投資額	4億円
資金使途	環境持続型の漁業・養殖事業

< 今回の案件と関係の深い SDGs 目標 >

目標 12 : つくる責任 つかう責任

持続可能な生産・消費パターンを形成し、責任のある生産、消費を行う



目標 14 : 海の豊かさを守ろう

海と海洋資源を守り、持続可能な方法で利用する



以 上

2022-2174G, 広報部